

第61歩

「TKMT」

高松をローマ字で書くと「TAKAMATSU」。その母音の頭文字だけを取ると「TKMT」（ティー・ケー・エム・ティー）になります。その「TKMT」の文字列を図案化して、「高松市シティプロモーション推進ビジョン」において新しいロゴマークとして決定しました。そして、幅広く多くの人にご使用いただくために、色や組み合わせでいくつかのバリエーションを用意しています。

このロゴマーク、大きな特徴として、「TKMT」の「T」「K」「M」「T」の文字を使って、例えば

「(T) たのしい (K) けしき (M) みんなで (T) つくる」

のように、その人その人がT（時）、P（場所）、O（機会）に応じてオリジナルのメッセージを作成し、ロゴマークと一緒に発信することができます。ぜひ、いろいろ工夫をして自由に楽しくご活用ください。高松がこうあって欲しい、自分はこんなことを世に訴えたい、とあれこれ考えることで、頭の体操になり、老化予防に役立つかも知れません。そして、皆さんのメッセージが、高松全体のシティプロモーションに結び付き、交流人口や関係人口を増やし、ひいては「高松に対する愛着や誇り」（シビックプライド）を醸成することにつながっていくことを期待したいと思います。

今、世界では、Well-Being（ウエル・ビーイング）という考え方が注目されています。健康や経済的な豊かさだけでなく、心身ともに満たされ、社会と調和しながら生きることが実感できる状態を意味する言葉です。穏やかな瀬戸内海を眺めながらの散歩、屋島の山頂から見る朝日や夕陽、栗林公園の静寂の中で感じる季節の移ろいなど、自然の恵みに加えて、人とのつながり、挑戦できる環境、誰もが自分らしく生きられる社会があることが、ウエル・ビーイングなまちの基盤となります。

（T）多様性を受け入れるまち、（K）暮らしたいまち、（M）また来たいまち、（T）つながるまち

我が高松市は、暮らす人も、訪れる人も皆がこのウエル・ビーイングな心地良さを感じるまちになりたいと思います。そんなこの街の可能性を「TKMT」のロゴマークに載せて、みんなで育てていきませんか。

